土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　一級河川江の川水系 神宮寺川 測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

事業・工事名

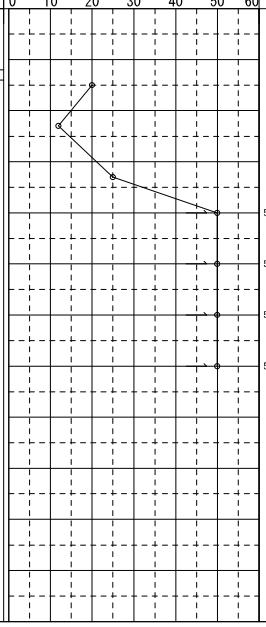
調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	R2-Bor.No.1	調査位置	広島県庄原市口和町（本堤東渓流谷部）	北緯	34° 55′ 11.6420″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和3年 1月28日～ 令和3年 2月 2日	東経	132° 53′ 46.6250″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 356.02m	角度	180°上 90 下 0°　0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	0° 鉛直 90°　水平 0°	使用機種	試錐機：東邦DO-D型 / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	355.02	1.00		礫混じり粘土質砂		暗褐			細砂～中砂主体。 粘土分を全体的に20～30%程度混入する。 礫はφ10～30mmの亜角礫。	2/2 1.20
	354.82	1.20		玉石		暗褐灰			φ20cmの花崗閃緑岩質玉石。	
2				礫・粘土混じり砂		茶褐～明茶褐	rd3		細砂～中砂主体。 粘土分を全体的に10～20%程度含む。 φ30～50mm程度の礫を10%程度混入する。	
3	352.67	3.35								
	352.42	3.60		風化流紋岩		黄茶褐			砂質土状コア。 一部粘土化している。	
4				流紋岩		青灰			礫状～短柱状コアを呈する。 一部亀裂面に粘土を挟む。	
5	350.72	5.30								
6				ひん岩		暗青灰			岩片～短柱状コアを呈する。 潜在亀裂が多く，一部はハンマー軽打で崩れる。 RQD 3.35～4.00m　0% 4.00～5.00m　11% 5.00～6.00m　0% 6.00～7.00m　11% 岩級区分 GL-3.35～3.60m DM GL-3.60～6.60m CL GL-6.60～7.00m CM	
7	349.02	7.00								
8										
9										
10										
11										
12										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
20	1.35	7	6	7	20/300		
12	1.65 2.15	4	4	4	12/300		
25	2.45 3.15	3	6	16	25/300		
50以上	3.45 4.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	6.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	7.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				1/29
				2/1
				2/2